技術・家庭科　学習指導案　　　　守口市立庭窪中学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　教　　諭　　Ｔ１

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　臨時技師　　Ｔ２

１．日時　　平成３０年９月１４日（金）第３時限

２．場所　　西館３階 １－２学級

３．学年・組　　第１学年２組

４．単元（題材）名　　食品の選択

５．単元（題材）の目標

　　食品の選択は、目的、栄養、価格、調理の能率、環境への影響などの諸条件を考えて選択することが大切であることを理解できるようにする。

生鮮食品については、調理実習で用いる魚、肉、野菜などの食品を取り上げ、鮮度、品質、衛生などの観点から良否を見分けることができるようにする。

加工食品については、身近なものを取り上げ、その原材料や食品添加物、栄養成分、期限表示、保存方法などの表示を理解して良否を見分け、選択できるようにする。

６．指導観

　　子ども達は栄養の学習についての関心はわりとあるようである。だが、食生活は一人一人実態が違うため、食に関する意識には大きな差がある。しかし、自分達が成長し、健康で生きていくためには食事が大事であるということを理解し、実践できるようにしたい。１学期にはどのような献立にすればバランスがよい食事になるのか、を勉強してきた。夏休みの宿題では、一日のうちの１食分を自分で６つの基礎食品群を揃えたバランスのよい献立を考え、調理した。一汁三菜または一汁二菜なるように考え、配膳もきちんと出来たか、写真に撮って貼り付けるようにした。夏休みの宿題をすることによって、食材を買いに行くところから始めた生徒も多くいることと思われる。食事を作ることは目的、栄養、時間、費用、環境面、作るか加工食品を利用するかを考え、食品を選択することから始まることを理解させたい。特に本時では生鮮食品は新鮮なものを選ぶことが安価で栄養価も高く、衛生面でもよいことがわかるようにしたい。

７．学習計画（全３時間）

　　●生鮮食品と加工食品・・・３時間

　　　生鮮食品の選び方（本時）

　　　加工食品、食品の表示（２/３）

　　　食品の保存について（３/３）

８．本時の指導

（１）　題材名　生鮮食品の選び方

（２）本時の目標

　　　・生鮮食品について理解する。

・食品の品質を見分け選択することができる。

（３）本時の評価基準

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生活や技術への関心・意欲・態度 | 生活を工夫し創造する力 | 生活の技能 | 生活や技術についての知識・理解 |
| 評価基準 | 身近な食品に興味をもち、用途に応じて適切に選択しようとしている。 |  | 身近な食品を選択するために必要な情報を適切に選択できる。 | 身近な食品の品質を見分ける観点について理解している。 |

（４）本時の展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容・学習活動 | 形態 | 教師の支援　　評価 | 資料等 |
| Ｔ１ | Ｔ２ |
| 導入５分 | 夏休みの宿題で買い物したか？どうやって食材を選びましたか？問いかけ本時のめあて生鮮食品の見わけ方 | 一斉 | 問いかけをする。・活動内容を明確にする。 | ・パワーポイント最初のテーマを出す | 電子黒板 |
| 展開４０分班活動５分発表５分 | ・卵の新鮮なものの見分け方の話（パワーポイント）水に入れた卵の沈み方の違いを見る新鮮なものはどれか選ぶ・生鮮食品のどういうものが新鮮と思って選ぶか書き出す。班長に発表させる新鮮な食品の選び方のパワーポイントを見る | 一斉個人班一斉 | ・ワークシートを配る。・生徒が出来ているか机間指導をする。発表の指示 | ・卵の話をする・答えをワークシートに記入するよう指示する。答えは何にしたか問いかけて正解を見せる。・生徒が出来ているか机間指導をする。発表を見てのコメント・新鮮なものの選び方を、パワーポイントを見せながら説明・新鮮な食品の選び方　 | ワークシートホワイトボードマーカー電子黒板 |
| まとめ５分 | まとめ感想を書く。 | 個人 | ・今日のまとめを書くように指示する。 |  | ワークシート |